



ガバナーメッセージ

ガバナー 平尾 寧章

新年おめでとうございます。

会長・幹事様にはご健勝にて新年を迎えられたことと存じます。

公式訪問では、色々とお世話になりました。又、写真等頂きましてありがとうございます。

会長・幹事様との懇談会ではガバナー補佐様と共に、この上なく楽しく、和やかな勉強・研修をさせて頂き、感謝しています。

又、公式訪問のスピーチは暖かくお聞きして頂きました。折角の一度の人生、何かに挑戦してみたい！ただそれだけでガバナーにならしてもらったわけですが、思った以上に忙しい日々でありました。

折り返し地点をまわりました。前半期は委員長会議や I M、公式訪問、地区大会等にてロータリーの研修、理念の勉強等の時間が多くありました。カール・ヴィルヘルム・ステンハマー R I 会長の今年度の R I テーマ「SERVICE Above Self」「**超我の奉仕**」でありましたので公式訪問の卓話もロータリーの歴史・理念等を中心にお話致しました。

さて、ロータリークラブとは何をやる所か・・・

決議 23 - 34 の第 2 項に（手続要覧 76 頁）

- 1．クラブ会員にロータリーの奉仕理論を例会で自己研鑽をしていただくこと
- 2．自分たちのあいだにおいても又、地域社会においても実際例を団体で示すこと
- 3．各会員個人が、この理論をそれぞれの職業および、日常生活において実践に移すこと
- 4．個人奉仕と団体奉仕の両面からロータリーアンだけでなく一般社会の人達に対して理論的にも実践的にも、これを受入れてくれるようにすること

と記載されています。

後半期はロータリーの理念の実践の機会が多くなります。

社会奉仕・世界社会奉仕（WCS）姉妹クラブとの交流・周年記念事業等、プログラムは多彩です。ロータリーは人作り・識字・環境問題・保健等、奉仕の百貨店ですが、会長様、幹事様のリーダーシップのもと、各クラブが工夫し独自性をもって、実践活動を行って頂くようお願いいたします。

地区としては規定審議会への議案提出に伴う会長会議・ローターアクトの全国研修会・財団研究グループ交換等（GSE）派遣と受入れ・世界社会奉仕（WCS）委員会のもと海外研修旅行・マルメ、コペンハーゲンの国際大会等あります。

又、青少年交換・財団奨学生・米山記念奨学生に対するプログラムも皆様のご協力により順調に推移しています。

さらに、国際協議会より帰られた三軒ガバナーエレクトさんの会長エレクト研修会（PETS）地区協議会等に移行していきます。

会員数も底打ち感もございますが、まだまだ安心することは出来ません。増強をお願いする

と共に、会長・幹事様におかれましては楽しく悔いのない半年を送って頂くことをお願い致します。

カトリーナ・ハリケーンとパキスタン大地震の義援金について

米国のカトリーナ・ハリケーンの義援金は2640地区より2,207,167円(11月10日現在)日本事務局に送金しております。

クラブ単独で日本事務局への送金と地区にて取りまとめた分の合計額です。

パキスタン大地震には

2640地区クラブより2,357,282円の義援金と地区より2,642,718円の合計で500万円カラチRCへ送金しました。

この様な多額の義援金を出して頂きました2640地区の会員のエネルギーと人道的な心の実践に驚きをもって感謝申し上げます。

パキスタン地震義援金のお願いを致しましたところ、

皆様からお預かりしました義援金は上記の通り総額2,357,282円にもなり、地区災害等非常時積立金(国際大会参加還付金他)から2,642,718円を加え、総額5,000,000円として国際ロータリー第3270地区カラチRCへ贈呈させて頂きました。すでに地区ホームページにて報告させて頂いていますが、カラチRC会長ムハンマド オベイス(Muhammad Ovais)氏、ガバナーノミニー アジズ メモン(Aziz Memon)氏からは、お礼状と復興へ向けての中期的復興計画、長期的復興計画についての計画書も頂戴しております。

又、オベイス会長へは、報告書をお送りいただくようお願いしています。

皆様方の暖かいご協力を心より感謝と御礼を申し上げます。被害されましたパキスタンの皆様方にはお見舞い申し上げますと共に一刻も早い復旧がなされますことをお祈り致します。

又、地区世界社会奉仕委員会等、ご協力頂きました。

なお、中島パストガバナーには英文でのメールのやりとりをして頂き感謝致します。

